

製品安全データシート

会社: 株式会社パーキンエルマージャパン
住所: 〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134
横浜ビジネスパーク テクニカルセンター 4F
TEL: 045-339-5864 FAX: 045-339-5874
緊急連絡先: 同上
作成・改訂日: 2009年9月14日

MSDS No. 6018913/108883

Code	製品名	包装
6018913	Background standard for low level counting	10 mL in 20 mL vial
内容	0.4 %(w/v) PPO and 0.25 %(w/v) Dimethyl-POPOP in Toluene 危険物第四類 第一石油類(非水溶性液体) 危険物等級II 引火点 4.4	

物質の特定

単一製品・混合物の区別	混合物
物質の特定	トルエン
含有量	98 - 100 %
化学式(分子量)	C ₆ H ₅ CH ₃ (92.13)
官報公示整理番号	3-2
CAS No.	108-88-3

危険・有害性の分類

最重要危険有害性及び影響 引火性液体、急性毒性物質

人の健康に対する有害な影響

目、皮膚、粘膜に刺激作用があり、吸入または経口摂取すると有害で、頭痛、めまい、吐き気、疲労、平衡感覚障害等を起こし、高濃度ではチアノーゼ、肺水腫を起こし意識喪失し死に至ることがある。皮膚からも吸収され、同様の症状を起こすことがある。

環境への影響

既存化学物質安全性点検データで、分解性が良好と判断される化学物質

物理的及び化学的危険性

引火しやすい液体で、蒸気は空気と爆発性混合ガスを作り、引火爆発の危険がある。揮発性物質で、屋内・野外または下水溝で火災爆発の危険性がある。

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移し、安静・保温に努める。症状が回復しない場合は、速やかに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣服や靴を脱がせ、速やかに付着部を水でよく洗い流す。

目に入った場合

直ちに流水で15分以上洗眼し、速やかに眼科医の処置を受ける。

飲み込んだ場合

直ちに口中を洗浄し、大量の水を飲ませるが、吐かせない。直ちに医師の手当てを受ける。

火災時の措置

消火方法

周辺火災の場合は速やかに容器を安全な場所に移動する。移動不可能な場合は、容器及びその周辺に散水して冷却する。火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。

消火活動の注意事項

消火作業は風上から行ない、場合によっては呼吸保護具を着用する。

消火剤 粉末・二酸化炭素・泡消火器、乾燥砂

漏出時の措置

付近の着火源となるものを速やかに取り除く。少量溶液の場合はペーパータオルで吸い取る。吸着させたペーパータオルは、プラスチックバッグに密閉して適切に廃棄する。

処理者に対する注意

皮膚等に付いたり吸入したりしないように、適切な保護具を着用する。取り扱い後はうがい、手洗いをを行う。

環境影響に対する注意

漏出物が一般廃棄物として排出されないよう注意する。

取扱および保管上の注意

取扱い

火気に注意する。吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れない様に、適切な保護具を着用し、換気の良い場所で作業する。蒸気の発散を出来るだけ抑え、作業環境を許容濃度以下に保つ様に努める。取り扱い後は、洗顔、うがい、手洗いをを行う。

保管

容器は直射日光を避け、乾燥した場所に貯蔵し、密閉して空気との接触を避ける。その他、労働安全法などの法令で定められた取扱いを行なう。

暴露防止および保護措置

許容濃度

ACGIH(1999): TLV-TWA 50 ppm

日本産業衛生学会勧告値(1999): 50 ppm

設備対策

作業環境の密閉化または、局所排気装置の設置。手洗いや洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。保管場所を含め使用する電気機器は防爆構造とし、機器類は接地などの静電気対策を講じる。

保護具

呼吸器の保護具: 有機ガス用マスクおよび空気呼吸器

手の保護具: 必要に応じて保護手袋

目の保護具: 必要に応じて保護眼鏡またはゴーグル

物理的および化学的性質

トルエン 単一製品として

外観等 無色透明・特異臭のある揮発性液体

融点 -95 沸点 110.6 比重 0.861 0.872 g/ml (20/20)

引火点 4 4.4 発火点 480

溶解性 水に不溶(0.5 g/liter(25)), エタノール、クロロホルム、エーテル、アセトンと自由に混合する。

配合禁忌 強酸化剤

特定条件下で生じる危険な反応

情報なし

有害性情報

トルエン 単一製品として

刺激性 皮膚及び眼に対して軽度から中程度の刺激性を有する。

急性毒性 経口: ラット LD₅₀ = 2,600 7,530 mg/kg

吸入: ラット LC₅₀ = 6,770 8,000 ppm/4時間

経皮: ラット LD₅₀ = 12,000 mg/kg

腹腔内: ラット LD₅₀ = 1,640 mg/kg

吸入: マウス LC₅₀ = 5,300 6,770 ppm/6 7時間

腹腔内: マウス LD₅₀ = 1,200 mg/kg

がん原性 IARC: Group3(ヒトに対する発がん性について分類できない物質)

ACGIH: A4(ヒトへの発がん性物質として分類できない物質)

その他

環境影響情報 魚毒性: データなし

廃棄上の注意

自己処理できない場合は、都道府県知事の認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

輸送上の注意

輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確め、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実に
行う。

国連番号: UN1294; Hazard Class 3.2 (中引火点引火性液体 PG2)

適用法令

- 1) 毒物及び劇物取締法: (劇物) 第2条76の2 (原体)
- 2) 労働安全衛生法: (名称等を通知すべき危険物及び有害物) 法第57条の2、施行令第18条の2別表第9の407、
(名称等を表示すべき危険物及び有害物) 法第57条1、施行令第18条の23
- 3) 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法): (第一種指定化学物質) 法第2条第2項、施行令第1条別表第1 番号227、
新番号300 平成21年10月1日以降

略号 LC₅₀: lethal concentration 50 percent kill

LD₅₀: lethal dose 50 percent kill

TDL₀: lowest published toxic dose(最小中毒量)

TLV-TWA: Threshold Limit Value-Time Weighted Average (時間荷重平均許容濃度)

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

IARC: International Agency for Research on Cancer

本製品安全データシート(MSDS)は、入手した情報に基づいて作成されていますが、全ての情報を網羅しているわけ
ではありませんので、お取扱には十分ご注意ください。

本MSDSの記載内容は、情報提供であり当該化学物質の取扱い上のいかなる保証をするものではありません。